

# 第7回 奈良県こども・子育て推進本部会議

令和7年2月17日(月)

会場: 第1会議室

# 次 第

## 開 会

1. 令和7年度予算（案） こども・子育てに関する施策について
2. 「奈良県こどもまんなかアクションプラン2025（案）」について
3. こども・若者の意見聴取について
4. 今後の予定について

## 閉 会

1. 令和7年度予算（案） こども・子育てに  
関する施策について

# 令和7年度予算（案） こども・子育てに関する施策

- こども・子育てに関する施策について、昨年10月に「奈良県こどもまんなか未来戦略」を策定。
- 未来戦略に基づき、令和7年度実施事業について検討し、以下の主な取組を実施。
- 今後も、「奈良県こども・子育て推進本部」において、部局間の連携を図りつつ、専門家の意見やこども・若者及び子育て当事者から意見を聴取し、聴取した意見を施策に反映させながら、施策の当事者のニーズに即したこども・子育て施策を着実に推進していく。

## 取組方針① こども・若者の視点に立った施策の立案と推進

- ・こども・若者への意見聴取と反映 等

## 取組方針② ジェンダーギャップの解消を始めとした社会全体意識・構造の改革

- ・若者のライフデザイン実現に向けた支援
- ・困難な問題を抱える女性への支援 等

## 取組方針③ 若い世代、ひとり親世帯への就労支援・所得の向上

- ・若者に県内企業を知ってもらう機会の創出
- ・オンラインを活用したリカレント教育による就職支援
- ・企業単独では困難な在職者のキャリアアップの支援 等

## 取組方針④ 男女ともに仕事と家庭・子育てを両立できる職場環境の整備

- ・働きやすい職場づくりと女性の就労支援を推進
- ・ワクワクする職場環境づくりの推進 等

## 取組方針⑤ 個人の希望に応じた選択ができるよう、結婚、妊娠、出産、子育ての切れ目のない支援の充実

- ・こども・子育てDXの推進
- ・若者、子育て世代に向けた魅力の発信 等

## 取組方針⑥ 困難な状況に置かれているこども・子育て世帯に対する相談体制、支援等の充実

- ・妊産婦等への支援の強化
- ・こども食堂（こどもの居場所）への支援
- ・公設フリースクールの整備
- ・ヤングケアラーへの支援の強化 等

## 取組方針⑦ こどものすこやかな成長と子育て世帯を支える教育、保育等の体制整備

- ・発達障害児への支援
- ・県立学校の環境改善
- ・教育行政に係る法務相談体制の整備
- ・高等学校授業料等の支援制度の拡充
- ・ベビーシッターを活用した子育て支援
- ・保育士の処遇改善 等

## 取組方針⑧ 妊娠、出産、こども、子育てを支える保健医療提供体制の充実

- ・不妊治療の支援 等

## 取組方針⑨ こども、子育てにやさしいインクルーシブなまちづくり

- ・ぬくもりあふれる公園プロジェクト
- ・まほろば健康パーク機能強化 等

R7 予算案（R6年2月補正含む） 約107億円

R6（約74億円※）比 +約33億円  
R5（約49億円※）比 +約58億円

※第3回本部会議（R6.2.7）公表額

## 取組方針① こども・若者の視点に立った施策の立案と推進

### こども・若者への意見聴取と反映

こども・若者が、自らが当事者となる施策に参画できる機会を確保し、「こどもまんなか社会」の実現を目指すため、意見発表の場を提供

- ・こどもまんなかクラブの運営
  - ①小学校1年生世代から29歳までの登録者に対して意見を募集
  - ②対面またはオンラインにより意見を提出
  - ③受けた意見を政策に反映(検討)
  - ④反映(検討)結果を登録者にフィードバック



- ・学校等訪問による意見聴取  
県職員が学校、福祉施設、養護施設、企業等を訪問し、対話による意見聴取を実施
- ・「こどもまんなか社会」の実現に向け、こども・若者の視点に立った意識調査を継続的に実施

## 取組方針② ジェンダーギャップの解消を始めとした社会全体の意識・構造の改革

### 若者のライフデザイン実現に向けた支援

将来の選択肢が制限され、こども・若者が将来の希望を諦めることのないよう、早い段階から様々な価値観・正しい情報に触れ、結婚や子育てなどライフイベントについて考える機会(ライフデザイン)を提供

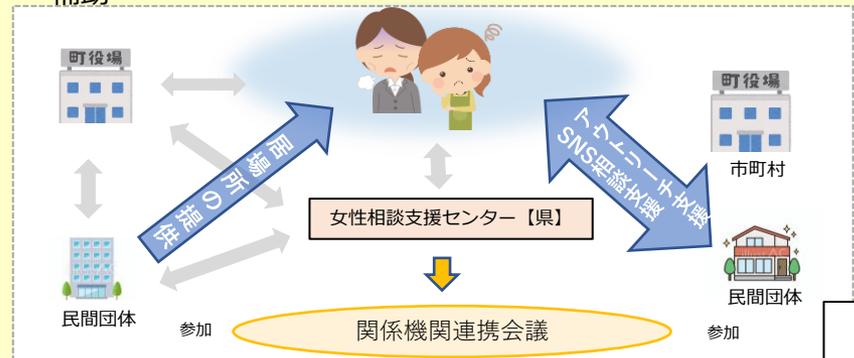
中学生・高校生、大学生・社会人(29歳までを想定)を対象に、ライフデザインセミナーを実施



### 困難な問題を抱える女性への支援

様々な困難な問題を抱えた女性に対して、民間団体等と連携し、相談対応や居場所の確保を支援し、切れ目なく重層的な支援を実施

- ・包括的な体制構築に向けた民間団体等や市町村との連携会議を開催
- ・**新**民間団体等が行う困難な問題を抱える女性への支援に対し補助



# 令和7年度予算(案) こども・子育てに関する施策

## 取組方針③ 若い世代、ひとり親世帯への就労支援・所得の向上

### 若者に県内企業を知ってもらう機会の創出

高校生が県内企業を訪問することで、適性や仕事について考える機会を提供

若者の離職率が高い

県外就業率が高い

働くことや自己の適性について考える機会や、企業についての情報が十分でないまま就職活動を行うことで、就職のミスマッチが発生

そもそも県内企業を知らない



県内企業を  
バスツアーで訪問

高校生500名程度  
※保護者も対象



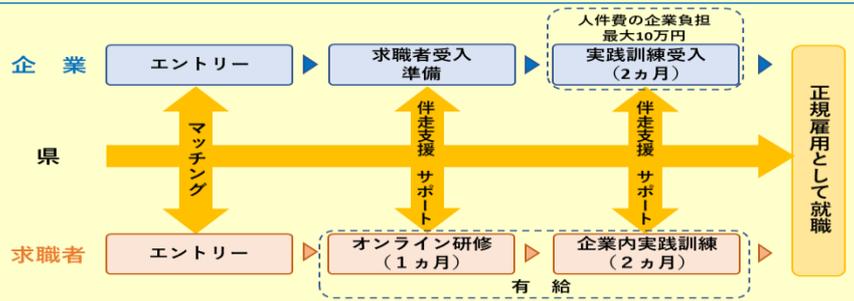
※企業訪問の様子

学生には将来の仕事について考える機会を、企業には自社の魅力を発信する機会を提供

就職活動を始める前から県内企業について知ってもらう機会が必要

### オンラインを活用したリカレント教育による就職支援

求職者と企業をマッチングし、オンライン研修と企業内実践訓練を通じて、企業が求める知識・能力を有する人材を育成



### 企業単独では困難な在職者のキャリアアップの支援

多彩なカリキュラムのeラーニング環境を提供

- IT・DXスキル
- 営業スキル
- マネジメントスキル
- 財務・人事スキル

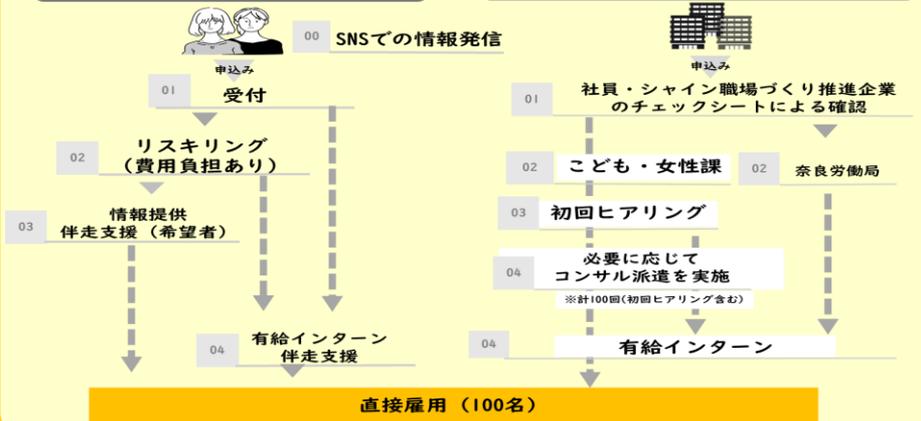
## 取組方針④ 男女ともに仕事と家庭・子育てを両立できる職場環境の整備

### 働きやすい職場づくりと女性の就労支援を推進

企業における業務改善を支援するとともに、就労を希望する女性に対して、リスキリングと、企業とのマッチングを支援

令和6年度の申込者数が予定よりも多かったため、継続して実施

企業の努力を促し、確実な雇用定着に結びつけるために、申込みの要件を見直し



### ワクワクする職場環境づくりの推進

働きやすい職場づくりに取り組んでいる事例の紹介や、企業・団体等のトップに向けた実効性のあるセミナーや意見交換の機会を提供



# 令和7年度予算(案) こども・子育てに関する施策

**取組方針⑤ 個人の希望に応じた選択ができるよう、結婚から妊娠、出産、子育てまで切れ目の無い支援の充実**

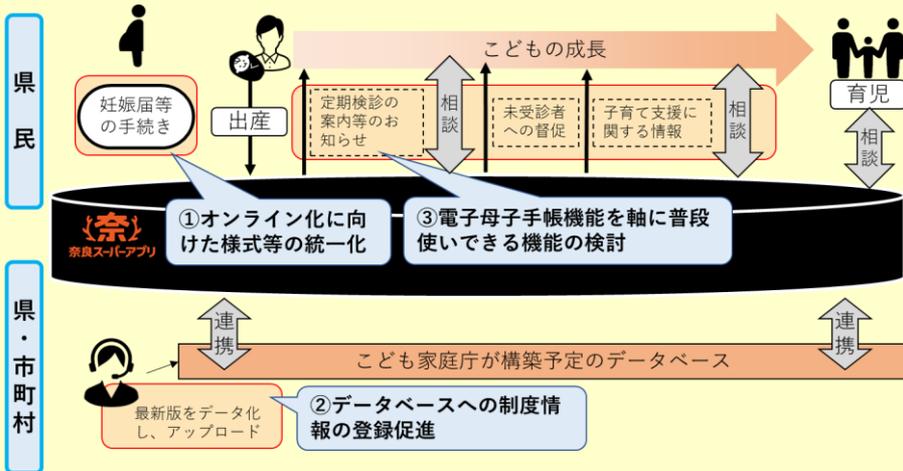
## こども・子育てDXの推進

こども・子育て分野のDXを推進するため、市町村との電子母子手帳アプリ等のシステムの共同化等を検討

市町村と連携したこども・子育て施策のデジタルサービス化として以下の取組を検討

奈良スーパーアプリを活用したDX

- ・申請書類・帳票類の簡素化・標準化
- ・データ連携などを通じ、市町村職員の業務負担軽減
- ・電子母子手帳アプリ等のシステムの共同化 等



## 若者、子育て世代に向けた魅力の発信

若者、子育て世代に対して、子育て環境としての奈良県の魅力等を伝えるコンテンツをSNS等で発信

令和6年度に募集・作成した動画等をWEB広告等により発信

**取組方針⑥ 困難な状況に置かれているこども・子育て世帯に対する相談体制、支援等の充実**

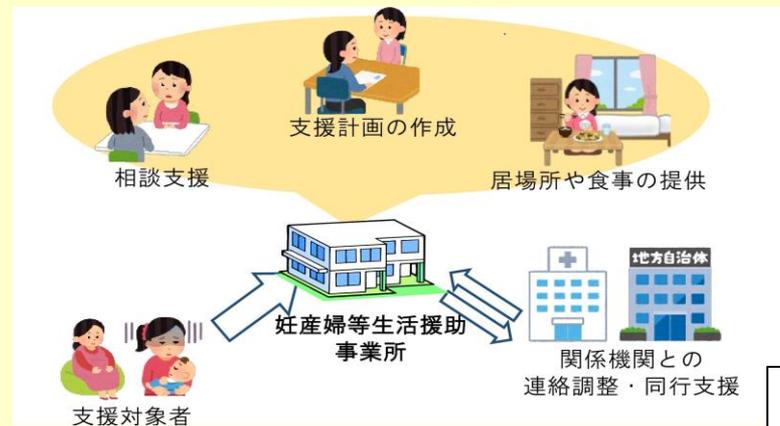
## 妊産婦等への支援の強化

**新** 特定妊婦等に対し、面接や訪問相談等により状況を確認し、関係機関へ確実につなぐ体制を整備

特定妊婦や性に関する疾病等に悩む若者に対し、面談・訪問相談等により状況を把握し、関係機関と連携を行うとともに、産科受診等医療機関への同行支援を行い、対象者の気持ちに寄り添った支援の実施

**新** 家庭生活に支障が生じている妊産婦や出産後の母子等に対して支援を実施

- ・利用者の状態に応じた支援計画の作成
- ・望まない妊娠に対する葛藤の相談やこどもの養育相談、自立に向けた相談等の相談支援
- ・入居又は通いによる居場所や食事の提供等の生活支援
- ・医療機関受診、就労支援機関の利用、行政手続等の同行支援
- ・児童相談所や市町村、医療機関等の関係機関との連携



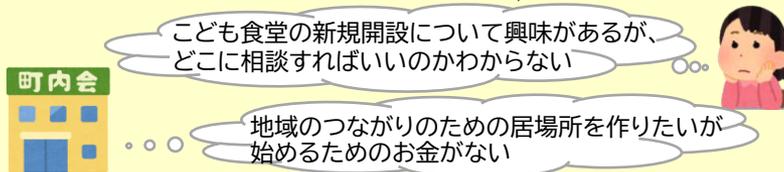
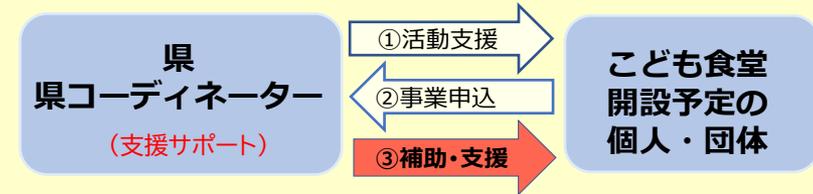
# 令和7年度予算(案) こども・子育てに関する施策

## 取組方針⑥ 困難な状況に置かれているこども・子育て世帯に対する相談体制、支援等の充実

### こども食堂(こどもの居場所)への支援

こども食堂の設置促進、活動を支援するため、開設支援、継続支援等や運営費用等に対する補助を実施するとともに、新たにこども食堂を開始する際の開設経費に対する補助を拡充

- **新** こども食堂スタートアップ  
 企業版ふるさと納税を活用し、新たにこども食堂を開始する際の開設経費に対し補助



- 奈良こども食堂サポート  
 こども食堂コーディネーターを配置し、開設・運営にかかる相談、民間協力企業とこども食堂のマッチング等の支援を実施
- こども食堂認証制度  
 「奈良県安心・安全こども食堂認証制度」をこども食堂に普及させるため、認証の取得・維持に必要な経費に対し補助
- こども食堂はぐくみ活動支援  
 調理や遊びを通じたこどものはぐくみ活動を促進するため、こども食堂の食事を一定期間無料化するこども食堂に対し補助

### 新 公設フリースクールの整備

メタバースを活用したオンライン環境を構築し、多様な学びの場、居場所の確保による不登校支援

- メタバース空間を活用した交流機会の提供
- 自分のペースとスタイルに合った学びを支援
- 個に寄り添った学習支援

#### メタバース(仮想空間)

<フロアイメージ>



学校に通えなくても参加できるオンラインによる学習・交流の場を提供

「誰一人取り残さない学びの保障」を推進

取組方針⑥ 困難な状況に置かれているこども・子育て世帯に対する相談体制、支援等の充実

ヤングケアラーへの支援の強化

**新** 新たにヤングケアラー・コーディネーターを配置するなど、市町村や福祉・介護・教育民間支援団体等の関係機関等と連携して、発見・把握支援体制を構築

主に18歳以上のヤングケアラーの早期発見にも対応

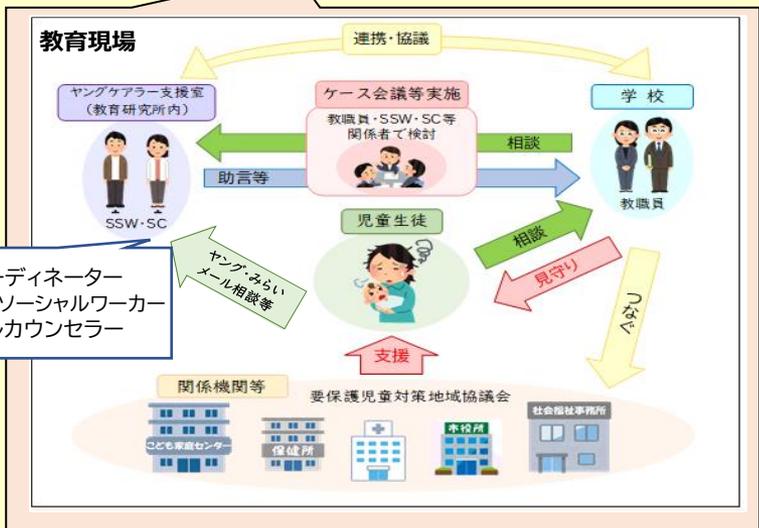
ヤングケアラー



地域・活動領域で支援

こども家庭センター 地域包括支援センター 等  
学校 医療機関 こども食堂 民間支援団体

県・市町村  
ヤングケアラー・  
コーディネーター  
(県委託)



スクールカウンセラーを全公立小学校に配置拡充  
(令和6年度 77校 → 令和7年度 178校)

取組方針⑦ こどものすこやかな成長と子育て世帯を支える教育、保育等の体制整備

発達障害児への支援

発達障害のあるこどもやその家族、グレーゾーンの方に寄り添った早期発見・早期支援を実施

- ・県発達障害者支援センターの運営
- ・発達障害の診断を行う医師の確保・育成
- ・発達障害児支援の質の向上に取り組む市町村への支援や関係機関のネットワークづくり等(下図参照)

県・県発達障害者支援センター

児童発達支援センター等

地域の障害児支援の質を高めるための中核的機関

- ▶事業所等へのスーパーバイズ等を強化
- ▶地域のインクルージョンの推進

相談・連携・**スーパーバイズ**

障害児通所支援事業所

障害児相談支援事業所

市町村

巡回支援専門員

保育所等への巡回等により施設職員や保護者等に対し助言等を実施

相談・連携・訪問

保育所、幼稚園、学校等

各家庭

かかりつけ医療機関

- ▶専門医療機関への紹介
- ▶専門的な診断後のフォロー診療

連携

専門医療機関

- ▶専門的な診断・診療等
- ▶かかりつけ医療機関の逆紹介

# 令和7年度予算(案) こども・子育てに関する施策

## 取組方針⑦ こどものすこやかな成長と子育て世帯を支える教育、保育等の体制整備

### 県立学校の環境改善

#### 県立高校トイレピッカピカ5カ年計画を推進

令和6年度から令和10年度の5年間で、すべての県立高校のトイレ洋式化・乾式化を実施  
(全校(29校31学舎))

令和7年度は10校で洋式化・乾式化の工事を実施

#### 特別教室、体育館への空調設備の設置

授業中等の熱中症対策のため、計画を前倒しして空調設備を設置

##### 【特別教室】

稼働率の高い教室を優先して空調設備を設置

##### 【体育館】

授業中等の熱中症対策のために空調設備を設置

#### 県立学校の老朽化対策

屋上防水改修等の大規模改修、教育環境改善のための修繕や備品の更新等を実施

- ・屋上防水改修等の大規模な改修
- ・教育環境改善のための修繕や備品更新等

### 新 教育行政に係る法務相談体制の整備

学校等への過剰な要求や学校事故などの諸課題に対応するため法務専門家の派遣体制を整備

法務専門家(弁護士)を選任し、県立学校、県及び市町村教育委員会への法務相談、研修及び出前授業等を実施

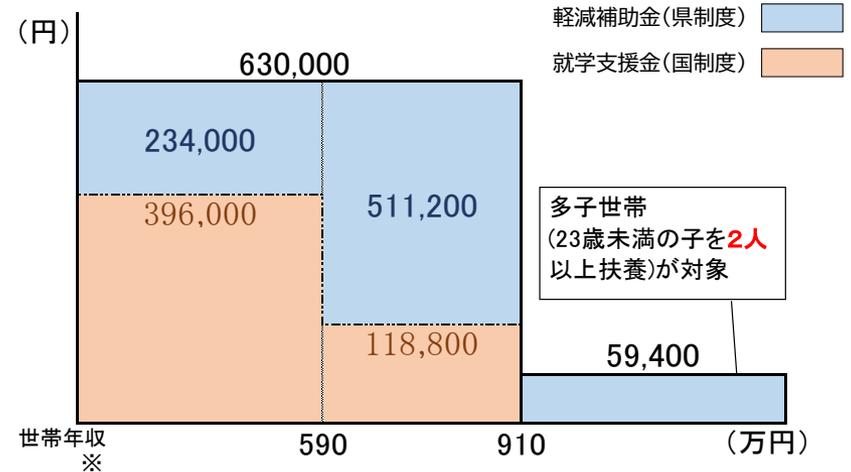
### 高等学校授業料等の支援制度を拡充

こどもたちが家庭の経済的状況にかかわらず、希望する進路を選択できるよう授業料等を支援

**新**世帯年収(目安)910万円以上の世帯への支援対象を扶養する23歳未満の子が「3人以上の世帯」から「**2人以上の世帯**」に拡大

	扶養する23歳未満の子の人数		
	1人	2人	3人以上
令和6年度	0円	0円	59,400円
令和7年度	0円	<b>59,400円</b>	59,400円

#### 【私立高等学校(全日制・定時制)の支援イメージ】



※ 世帯年収は、両親の一方が働いていて、高校生1人、中学生1人のサラリーマン世帯の場合の目安

**取組方針⑦ こどものすこやかな成長と子育て世帯を支える教育、保育等の体制整備**

## 新 ベビーシッターを利用した子育て支援

就労の有無に関わらず、子育て支援の一環として、県が試行的に実施するベビーシッターを利用した子育て支援事業を活用し、利用料助成を行う市町村を支援

市町村が利用者に対して助成する額の1/2を補助  
(県の補助上限額: 対象の子1人あたり1,500円/回かつ36,000円/年)

### 【対象年齢】

0歳～3歳未満

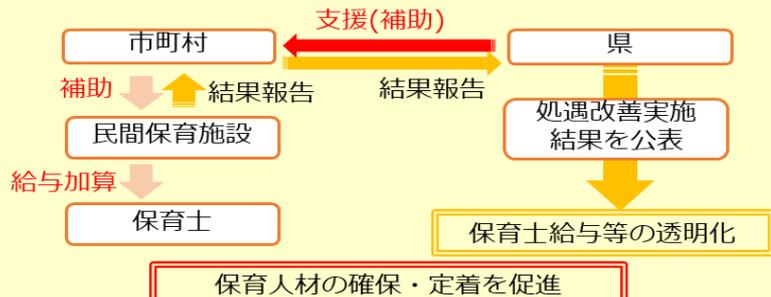
### 【補助対象サービス】

認可外の居宅訪問型保育事業  
育児支援、外出支援、送迎支援、家事支援

## 保育士の処遇改善

県内保育士の処遇改善を実施し、民間保育所等における保育士給与等の透明化を図ることにより、保育人材の確保・定着を促進

・常勤保育士等の処遇改善(給与加算)に取り組む市町村に対し1/2を補助  
(県の補助上限額: 1人あたり1万円/月)



**取組方針⑧ 妊娠、出産、こども、子育てを支える保健医療提供体制の充実**

## 不妊治療の支援

新 不妊に悩む夫婦等の経済的・精神的な負担を軽減し、妊娠を望む全ての人が、積極的に治療に取り組めるよう支援

・不妊治療費助成を行う市町村への補助を実施  
補助率 県1/4・市町村1/4・自己負担1/2

### 【補助対象】

- (1) 保険適用治療
- (2) 保険適用対象治療の回数制限を超えた治療(2回分)
- (3) (1)又は(2)と組み合わせて実施される先進医療

### 【上限額】

1回の治療あたり(1)と(3)は5万円(2)は15万円

### 一般不妊治療【保険適用】

生殖補助医療	保険適用対象治療 1)採卵、採精(男性不妊) 2)体外受精、顕微授精 3)受精卵・胚培養 4)胚凍結保存 5)胚移植	<b>【保険適用】</b> ※年齢・回数制限あり(1子ごと) ・40歳未満 通算6回まで ・40歳以上43歳未満 通算3回まで	補助対象
	先進医療として認められた医療技術【保険適用外】 *保険適用対象治療1)～5)に追加的に実施されるもの	<b>【保険適用外】</b> 回数制限の超過分	
	先進医療として認められていない医療【保険適用外】		

## 性と健康の相談センター「ならはぐ」の運営

- ・不妊・不育症、妊娠・出産、思春期の悩みなどに対し、若年層も相談しやすいオンライン相談窓口を設置し、専門職による相談を実施
- ・性と健康に関するセミナーの実施

## 取組方針⑨ こども、子育てにやさしいインクルーシブなまちづくり

### ぬくもりあふれる公園プロジェクト

全ての世代にやさしい公園機能を拡充するため、県営都市公園の施設・設備の設計・整備を実施

#### ①主要な園路のバリアフリー化【4公園】



R6年度  
馬見丘陵公園(工事)  
竜田公園(工事)  
R7年度  
馬見丘陵公園(工事)  
奈良公園(設計)

#### ②すべての世代にやさしいトイレの整備【5公園】



R6年度  
大洲池公園(工事)  
R7年度  
馬見丘陵公園(設計)  
大洲池公園(工事・設計)  
竜田公園(設計)  
大和民俗公園(設計)  
奈良公園(設計)

#### ③授乳施設の設置【5公園】



R6年度  
大洲池公園(工事)  
R7年度  
馬見丘陵公園(設計)  
大洲池公園(工事・設計)  
竜田公園(設計)  
大和民俗公園(設計)  
奈良公園(設計)

#### ④おもいやり駐車場の設置【5公園】



R6年度  
—  
R7年度  
馬見丘陵公園(設計)  
大洲池公園(工事・設計)  
竜田公園(設計)  
大和民俗公園(設計)

#### ⑤休憩施設の設置【1公園】



R6年度  
馬見丘陵公園(工事)  
R7年度  
馬見丘陵公園(工事)

### まほろば健康パークの機能強化

すべての人が利用できる、インクルーシブな公園を目指し、まほろば健康パークの機能を強化するため、基本設計等を実施

### イメージ図



## 2. 「奈良県こどもまんなかアクションプラン 2025（案）」について

# 「奈良県子どもまんなかアクションプラン2025（案）」について

本県での「子どもまんなか社会」の実現に向け、奈良県子どもまんなか未来戦略を推進するため、令和7年度の施策を盛り込んだ「奈良県子どもまんなかアクションプラン2025（案）」を策定する。

## （1）「子どもまんなか社会」の実現に向けた数値目標

項目	目標値 (令和11年度)	現状値 (令和6年度)
1. 「子どもまんなか社会の実現に向かっている」と思う人の割合	50%	14.2%
2. 「生活に満足している」と思う子どもの割合	現状維持	71.6%
3. 「今の自分が好きだ」と思う子ども・若者の割合（自己肯定感の高さ）	70%	52.5%
4. 社会的スキルを身につけている子どもの割合	70%	53.4%
5. 「自分には自分らしさというものがある」と思う子ども・若者の割合	90%	74.1%
6. 「どこかに助けてくれる人がいる」と思う子ども・若者の割合	90%	86.6%
7. 「社会生活や日常生活を円滑に送ることができている」と思う子ども・若者の割合	現状維持	72.2%
8. 「子ども政策に関して自身の意見が聴いてもらえている」と思う子ども・若者の割合	50%	21.4%
9. 「自分の将来について明るい希望がある」と思う子ども・若者の割合	70%	48.4%
10. 「奈良県の将来は明るい」と思う子ども・若者の割合	50%	23.0%
11. 「結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっている」と思う人の割合	50%	22.2%
12. 「子どもの世話や看病について頼れる人がいる」と思う子育て当事者の割合	90%	83.5%

※子ども大綱の目標項目を参考に設定

出典：令和6年奈良県子ども・若者実態調査  
(13歳～29歳の男女を対象)

(2) 数値目標の達成に向けた主な取組【全128事業より抜粋】

取組方針に基づく主な施策		事業名	成果目標	現状値 (年度)	目標値 (年度)
1. 子ども・若者の視点に 立った施策の立案と推進	子ども・若者の意見等の施策 への反映	子どもまなか社会実現事業	「子ども政策に関して自身の意見が聴 いてもらえている」と思う子ども・若者の 割合	21.4% (令和6年度)	50% (令和11年度)
2. ジェンダーギャップの解消 を始めとした社会全体の意 識・構造の改革	学童期・青年期に必要な 知識に関する情報提供や教 育	ライフデザイン実現応援事業	いずれは結婚しようとする未婚者の 割合（18～34歳）	82.8% (令和5年度)	90%以上 (令和10年度)
	困難な問題を抱える女性へ の支援の推進	困難な問題を抱える女性支援 事業	相談支援の連携、一時保護委託先 の民間団体・施設数	3団体 (令和5年度)	10団体 (令和9年度)
3. 若い世代、ひとり親世帯 への就労支援・所得の向上	若年者への県内就業・再就 職支援の充実	県内企業訪問事業	バスツアー参加者300人以上	学校参加型：226人 公募参加型：4人 (R7.1末時点)	300人 (令和7年度)
	オンライン学習を活用した離 職者・在職者への支援	オンラインを活用した職業訓練 推進事業	受講者の県内就職率	75% (令和5年度)	100% (令和7年度)
4. 男女ともに仕事と家庭・ 子育てを両立できる職場環 境の整備	リスキング等による就労支援 事業	女性が輝くワークチャレンジ事 業	希望した人が就業している割合 (20～64歳・女性)	86% (令和4年度)	90% (令和7年度)
	男女ともに働きやすい環境の 整備	ジェンダーギャップ解消等を通じ た社会づくり事業	希望した人が就業している割合 (20～64歳・女性)	86% (令和4年度)	90% (令和7年度)
5. 個人の希望に応じた選 択ができるよう、結婚、妊娠、 出産、子育ての切れ目のな い支援の充実	子ども・子育て施策におけるデ ジタルトランスフォーメーション (DX) 推進	子ども・子育てDX推進事業	子育て関連手続のオンライン受付を 行う市町村数	0市町村 (令和6年度)	39市町村 (令和8年度)

(2) 数値目標の達成に向けた主な取組【全128事業より抜粋】

取組方針に基づく主な施策		事業名	成果目標	現状値 (年度)	目標値 (年度)
6. 困難な状況に置かれている子ども・子育て世帯に対する相談体制、支援等の充実	児童虐待発生時の迅速・的確な対応	妊産婦等生活援助事業	児童虐待による死亡事例件数	0件 (令和6年度)	0件 (令和11年度)
	ヤングケアラー支援	ヤングケアラー支援体制強化事業	ヤングケアラー相談窓口の設置市町村数	29市町村 (令和6年度)	39市町村 (令和7年度)
	予期せぬ妊娠に悩む若年女性などへの支援の充実	特定妊婦等支援事業	未受診妊婦等の減少	30人 (令和4年度)	減少
7. 子どものすこやかな成長と子育て世帯を支える教育、保育等の体制整備	安心して子どもを預けられる教育、保育体制の整備	保育士等処遇改善事業	待機児童数が増に転じた市町村数	10市町村 (令和6年度)	0市町村 (令和11年度)
		ベビーシッター利用支援事業	ベビーシッター利用支援を行う市町村数	－ (令和7年度より実施)	13市町村 (令和9年度)
	子どもが安心して過ごし学ぶことのできる質の高い公教育の推進	県立学校長寿命化整備事業	安心・安全な教育環境の確保等	0校 (令和6年度)	全校 (令和10年度)
	相談支援及び療育体制の充実・強化	子どもの発達等に寄り添う体制構築事業	児童発達支援センターの設置圏域の割合	80% (令和5年度)	100% (令和8年度)
8. 妊娠、出産、子ども、子育てを支える保健医療提供体制の充実	不妊に悩む方への支援の充実	不妊治療費助成を行う市町村への補助事業	不妊治療費助成を行う市町村数	－ (令和7年度より実施)	39市町村 (令和8年度)
9. 子ども、子育てにやさしいインクルーシブなまちづくり	子ども・子育て世帯にやさしい公園施設・設備の整備	ぬくもりあふれる公園プロジェクト推進事業	まちづくり推進局・観光局所管公園施設のバリアフリー化率 (= 基準適合公園施設数/全公園施設数)	69.4% (令和6年度)	100% (令和10年度)

### 3. こども・若者の意見聴取について

# こども・若者の意見聴取 令和7年度の対応方針について

## こども基本法 §3③

全てのこどもについて、その年齢及び発達の程度に応じて、自己に直接関係する全ての事項に関して意見を表明する機会及び多様な社会的活動に参画する機会が確保されること。

## こども・若者の意見聴取の意義

- 県政にとって、当事者ニーズを把握し、こども・若者の視点に立った施策を立案・推進すること。
  - こども・若者にとって、意見することが当然の権利であることを前提に、自ら声をあげて、より良い社会づくりに参画すること。
- そのために、様々な手法により、様々なこども・若者の意見を聞くことが大切。

手法	意見聴取の対象等	今後の対応方針
<b>01 こどもまんなかクラブ</b> ① オンラインでの意見聴取 ② 対面での意見聴取	小学1年生世代～29歳 県が意見募集し、登録者がオンライン又は対面で意見提出。	<b>全庁において積極的に活用</b> こども・若者が関連する施策について、積極的に意見を聴取
<b>02 学校・施設等訪問</b>	小・中・高校、児童福祉施設、企業等 要望のあった学校・企業等を訪問し、意見を聴取。	こども・女性課において実施 <b>意見聴取のテーマを全庁的に募集</b>
<b>03 こども・若者を審議会等の委員に選任</b>	「奈良県こども子育て支援推進会議」では、公募により高校2年生・社会人1年目に委嘱	各部局が運営する審議会等のうち、 <b>こども・若者に深く関与する事項を所管する審議会等について、こども・若者委員の選任を検討</b>

## 今後の予定

- 令和7年4月以降

こども・若者から意見聴取をするテーマ（施策、策定・改定予定の計画等）について募集

こども・若者委員を選任する審議会等の照会

令和7年度の事業執行、令和8年度 of 取組検討及び計画等の策定・改定等に向けて、こども・若者の意見聴取を実施

# こども・若者の意見聴取の手法の特徴について

●何を聴きたいのか ●聴取の対象を特定するのか ●具体的なテーマを設定するのか 等によって手法を決定

手法

特徴

活用例や結果

## 手法01 こどもまんなかクラブ

### ① オンラインでの意見聴取

こども・若者の望み、好み、悩み等を**広く聴く**ことができる。  
選択式の問いを用いる等し、**気軽な雰囲気**で聴くことができる。

県内の公園の満足度や理想の公園について意見募集し、後日、希望者が県民大会にて発表  
まほろば健康パークについても意見募集し、「これからの公園を考えよう」をテーマに、現地で意見交換・ワークショップを実施  
[公園企画課]

### ② 対面での意見聴取

意見の背景や理由など、**意見の細部や本質**まで深掘りすることができる。

見るだけでなく五感で感じたいという意見を取り入れ、体験型プログラムを各種事業に反映  
[文化振興課]

## 手法02 学校・施設等訪問

普段意見を聴きにくい方なども含め、**対象を絞って**意見を聴くことができる。

性別役割分担意識により嫌な思いをしたという高校生の意見をもとに、予定しているセミナーにアンコンシャスバイアスに関する講義を取り入れる  
[こども・女性課]

## 手法03 こども・若者を審議会等の委員に選任

方向性やビジョンが明確である中で、**施策や取組に対する意見やアイデア**を聴くことができる。

当事者として計画案への意見があり、担当課にて反映  
[こども・子育て支援推進会議]

## 各手法を用いる際に共通するポイント

**ポイント ①** 平易な言葉を用いてわかりやすく説明すること（資料に関しては、“通常”版または“わかりやすい”版どちらを用いるか、相手方に相談するのも良い）

**ポイント ②** 年齢にかかわらず、相手を個人として尊重する姿勢（発言者に「こども・若者の代表」を押し付けない）

**ポイント ③** こども・若者の意見形成能力の向上（対面の場でのファシリテート、意見を言える複数の機会の提供）

# こども・子育て施策 推進体制の強化について

## — こども・子育て推進アドバイザー(外部有識者)「こども・若者の意見聴取担当」の選任 —

### ◆こども・子育て推進アドバイザー

分野	候補者氏名 (任期)	主な委員等実績
ジェンダー平等推進	小安 美和  ( R6.5.13 ～ R7.3.31 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>○内閣府 <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画推進連携会議有識者委員</li> <li>・男女賃金格差是正プロジェクト 地方・中小企業チーム サブリーダー</li> </ul> </li> <li>○兵庫県豊岡市、富山県南砺市、 宮城県気仙沼市アドバイザー 等</li> <li>○宮城県、新潟県、徳島県、札幌市などで 女性キャリア支援、リーダー育成講座提供</li> </ul>
こども・若者の意見聴取	櫻井 彩乃  【新規】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○こども家庭庁 <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども家庭審議会委員</li> <li>・こども・若者参画及び意見反映専門委員会委員</li> </ul> </li> <li>○内閣府 <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画推進連携会議有識者委員</li> <li>・こども未来戦略会議有識者構成員</li> </ul> </li> <li>○政府税制調査会特別委員</li> </ul>
こども・子育てDX推進	検討中 【新規】	



櫻井 彩乃 氏  
一般社団法人GENCOURAGE  
代表理事

#### 略歴

平成7年生まれ。

大学在学中、東京都葛飾区男女平等推進審議会委員、葛飾区女性のための防災対策等検討委員会委員を務める。

令和2年9月、「#男女共同参画ってなんですか」代表として、第5次男女共同参画基本計画策定に向けたパブリックコメント手続きにおいて、30歳未満から寄せられた声1,000件以上を提出。

併せて若者からの提言書をまとめ、担当大臣に手交。

同年11月に実施した選択的夫婦別姓の導入を求めたオンライン署名キャンペーン「#いつになったら選べますか」では5日間で3万筆超を集めた。

令和4年、GENCOURAGE（ジェンカレッジ）を立ち上げ、ジェンダー平等の実現に向けてこども・若者が課題解決力を身につけ、社会において行動を起こすことを目的に、ゼミの開講等を実施。

令和6年4月、同団体を一般社団法人化。

## 4. 今後の予定について

## 令和6年度

2月17日

第7回本部会議

R7予算（案）、こども・若者への意見聴取について 等

## 令和7年度

5月頃

第8回本部会議

R7取組内容について

10月頃

第9回本部会議

R8向け取組方針の共有

2月頃

第10回本部会議

「奈良県こどもまんなかアクションプラン2026（案）」の共有